

新たなステージへの旅立ち 市内中学校卒業式



3月8日、市内3中学校で卒業式が挙行されました。式では、来賓や保護者、先生と在校生が見守るなか、卒業生一人ひとりが元気よく返事をして校長先生から卒業証書を受け取りました。そして最後のホームルームを終え、3年間お世話になった学び舎を後にした卒業生たちは、在校生の出迎えに涙を流しながらも大きな期待を胸に新たなステージに旅立ちました。ご卒業おめでとうございます。

市内3中学校卒業生数

▷仁賀保中学校	64人
▷金浦中学校	21人
▷象潟中学校	65人



▲左上・左下：仁賀保中学校 中央：金浦中学校 右下：象潟中学校

13団体67人に修了証授与 令和6年度スポーツ少年団修了式

3月1日、仁賀保勤労青少年ホームにて令和6年度にかほ市スポーツ少年団修了式が行われ、13団体67人に修了証が授与されました。授与後に行われた活動発表では、各団の代表が心に残った試合や仲間との思い出のほか、指導者や保護者への感謝、そして中学校でも頑張りたいといった決意などが力強く語られました。



▲修了証を受け取る団員たち

ぺろっと！3商品を新たに認定 鳥海山・飛島ジオパーク認定商品認定式

2月24日、にかほっとで鳥海山・飛島ジオパーク認定商品の認定式が行われました。ジオの恵みを活かして、たのしくおいしく産業振興を図る商品の認定も第6期を迎え、今回は遊佐町・野菜みらい企画さんの「リュテニッツァ」、酒田市・丸藤満さんの「さつまいもアイス」、酒田市・岩間政幸さんの「手打ち蕎麦」が新たに認定されました。



▲受賞者と審査員の皆さんで記念撮影

楽しみながら海の恵みを収穫 下荒屋地区「防災講習会とワカメの収穫」

3月15日、下荒屋地区にて自治会主催の「防災講習会とワカメの収穫」が開催されました。下荒屋会館で炊き出し訓練とにかほ警察署による「特殊詐欺被害の防止」についての講話が行われたあと、近くの海岸でいざワカメの収穫。お年寄りから子どもたちまで、下荒屋地区の多くの住民が列をなし、楽しみながらワカメを刈り取る様子が見られました。



▲皆で協力してワカメを刈り取りました

身近にある消費者問題について学ぶ にかほ市文化講演会

3月9日、にかほ市文化講演会が仁賀保勤労青少年ホームにて行われました。テレビなどでもおなじみの菊地幸夫弁護士を講師に招き、「身近な法律相談と消費者問題の実態」をテーマに、菊地さんがこれまでに担当した各種事例を分かりやすく解説。身近に迫る詐欺被害、消費者問題の危機と、その対策について学ぶ貴重な機会となりました。



▲身振り手振りを使って分かりやすく解説する菊地さん

いちじくを身近に いちじく小学校～挿し木講習会～

3月9日、にかほっとでにかほ市いちじく振興会主催の「いちじく小学校～挿し木講習会～」が開催されました。いちじくをもっと身近に感じて気軽に育てられることを知ってもらおうと開校しているいちじく小学校。この日は市内外から20人が参加し、県の担当者や地元生産者の指導のもと、いちじくの枝を切り取り挿し木し、苗木を完成させました。



▲いちじくの苗木完成！元気に育ってくれるかな～

夢を叶えるために 郷土の偉人に学ぶ作文コンクール

3月1日、金浦公民館で「郷土の偉人に学ぶ作文コンクール」表彰式・優秀作品発表会が行われました。白瀬矗と齋藤憲三から学んだことをテーマに、小中学生255人が応募。小学校の部で最優秀賞に輝いた平沢小6年（受賞当時5年）の佐藤桃花さんは、白瀬矗と看護師の母を重ね、「努力すること、人のためになること」を頑張りたいと発表しました。



▲最優秀賞に輝いた佐藤桃花さん